

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称： 横浜あさひ中央保育園	種別： 認可保育園				
代表者氏名： 施設長 靄山 宣	定員（利用人数）： 90（69）名				
所在地： 241-0825 神奈川県横浜市旭区中希望が丘141番地6					
TEL： 045-442-8721	ホームページ： https://www.asahicyuo.ed.jp				
【施設・事業所の概要】					
開設年月日	2020年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人横浜育愛会				
職員数	常勤職員： 29名 非常勤職員： 5名				
専門職員	保育士 22名 栄養士 2名				
	看護師 1名 調理員 4名				
	用務員 0名				
施設・設備の概要	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">居室等</td> <td style="width: 50%; border: none;"> 保育室6室 調理室 調乳室 事務室 休憩室 多目的室 </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">設備等</td> <td style="border: none;"> 乳児用トイレ 幼児用トイレ 沐浴室 園庭 多目的トイレ1 大人用トイレ3 </td> </tr> </table>	居室等	保育室6室 調理室 調乳室 事務室 休憩室 多目的室	設備等	乳児用トイレ 幼児用トイレ 沐浴室 園庭 多目的トイレ1 大人用トイレ3
居室等	保育室6室 調理室 調乳室 事務室 休憩室 多目的室				
設備等	乳児用トイレ 幼児用トイレ 沐浴室 園庭 多目的トイレ1 大人用トイレ3				

③理念・基本方針

<p><保育理念></p> <p>豊かな育ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心も体も健やかに育つ ・園と家庭が連携し良き環境をつくる <p>共に育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛と真心のもと、保育士も保護者もそれぞれの役割を果たし、子どもの良き成長のために援助支援する <p>共に喜ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士は子どもの成長発達を喜び、専門職に生きがいと喜びを感じる ・保護者は我が子の成長を喜び、保育者からの援助支援に感謝と喜びを感じる <p><保育方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達の違いを尊重し、心と体の健やかな子どもに育てる ・健康に留意して、丈夫な体をもつ子どもを育てる ・遊びと生活の中で活動する意欲をもち、生き生きと過ごせる子どもに育てる ・友達を思いやり、ものを大切に子どもを育てる ・自然や社会と関わりをもち、豊かな心を持つ子どもを育てる ・送迎保育の特性を踏まえ、個々の生活を豊かにし、心情・意欲・態度を育てる

④施設・事業所の特徴的な取組

園は相模鉄道本線の希望ヶ丘駅から徒歩5分の交通至便な場所にあります。周囲は住宅街で、園は静かな環境に立地しています。園舎は鉄骨3階建てで、芝生の園庭を有しています。内部は木のぬくもりが感じられる木製材で仕上げられ、1階保育室のフロアは床暖房になっています。子ども用トイレは南側に面し、明るい日差しと清潔感にあふれています。絵本に興味を持つ子どものために、2階、3階の絵本コーナーは、採光を取り入れた明るい環境の中に設置し、子どもたちが文字や絵本に親しむ場としています。絵本コーナーは隠れ家的な雰囲気を出し、絵本ラックも木製にこだわり、子どもたちに人気の場所となっています。

体操指導では外部講師を招き、年齢別のカリキュラムのもと、子どもたちが伸び伸びと楽しく活動ができるようにしています。また、保護者向けに「体操だより」を毎月発行して、ねらいや活動の様子をわかりやすく解説しています。また、園外保育では、バスを利用して近隣の公園などに出かけ、広い公園で走ったり遊具で遊んだりしています。園では経験できないことを楽しんだり、友だち関係を深めたりする中で、主体的にルール作りができるように取り組んでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年7月10日（契約日）～ 2021年2月12日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆ゆとりある機能的な環境で、子どもたちは伸び伸びと過ごしています

保育室内をゆったり使えるように、保育室以外に倉庫、収納スペース、絵本コーナー（2か所）などを設置し、園では広い空間を使った保育が展開されています。そのため、活動スペース、食事スペース、午睡スペースを分けて使用できるほか、複数の異なるおもちゃを大きく広げて子どもたちは思い思いに遊ぶことができます。また、子どもが室内の別の場所や絵本コーナーに移って気分転換を図ることもできます。職員にとっても整った更衣室兼休憩室があり、自転車で送迎する保護者にとっても置き場所が広く、ストレスなく利用できています。子ども、職員、保護者に配慮された機能的な環境の中、子どもたちが伸び伸びと過ごしています。

◆園内研修や外部研修を通じて、保育水準の底上げを図っています

中長期計画には「保育士の質と専門性の向上」を掲げ、キャリアステージを設定しています。これに応じて必要な園内研修の実施、外部研修への職員派遣に取り組んでいます。キャリアステージには、階層別の保育士像、必要なスキルが示されています。園内研修は横浜市の補助事業を活用し、園内研修サポーターの協力を得て研修計画を作成し、年間を通じて計画的に園の保育水準の向上に取り組んでいます。さらに職員は、キャリアステージに応じて必要な知識・技術の習得のため外部研修に参加し、成果を共有するよう努めています。さらに目標管理、自己評価を通じて振り返りを行い、資質向上に向けた課題を明確にし、次期につなげています。

◇改善を求められる点

◆園で開催されている会議について明文化されとなお良いでしょう

運営管理規程では、園で設置する会議は、職員会議、昼礼（毎昼）、行事連絡会（随時）、給食会議（月1回）と規定されています。その他の会議については「必要に応じて設置する」とあり、運営管理規程に具体的な記載がありませんが、実際には日々の活動の中でリーダー会議などいくつかの会議も随時開かれているようです。こうした会議も目的を明確化し運営管理規程に記載されると良いでしょう。また、職員会議については「全職員が出席するように」とあり、構成員は全職員であることが明らかですが、その他の会議については構成員が規定されていないようです。会議の目的とともに構成員も明文化し、今後取り組まれるとなお良いでしょう。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

2020年4月に新設した横浜あさひ中央保育園の評価結果は、全体を通して想定以上の評価を頂き安心して頂いています。新施設環境の違いもありましたが、経営及び保育活動を共有しつつ保護者の理解は、概ね得られたことも良い結果に繋がったと思います。5歳児不在の中で今後は保育の質を高めていく事が課題と思われまます。保育理念・保育方針と共に、笑顔とあいさつを徹底していくようにしたいと思ひます。

①今回の第三者評価は、新設園で1回目という中で、コロナ禍に見舞われながらの実施となりました。私達はこの受審を「保育の質の向上」の良い機会と捉え、全職員で評価項目について園内研修を重ねました。園内研修では、保育環境・保育内容・保育マニュアル等の振り返りを行い、周知できていること、見直したいこと、新しく発見したことなど、保育士それぞれの自己評価に繋げることができました。

②保護者様から頂いたアンケートのご意見は真摯に受け止め、早急に改善点の取り組みをしていく所存です。また温かいお言葉がたくさん並んだメッセージは、毎日の仕事に向き合う保育士にとって大きな励みとなりました。横浜あさひ中央保育園に移設し1年目に皆様から貴重な評価を頂き、本当にありがとうございました。